

平成29年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490600127	事業の開始年月日	平成24年2月1日
		指定年月日	平成24年1月31日
法人名	株式会社 シリセス		
事業所名	グループホーム星川園		
所在地	(〒240-0064) 神奈川県横浜市保土ヶ谷区峰岡町1-13-1		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	15名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成30年3月20日	評価結果 市町村受理日	平成30年4月26日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"><li>入居者の心身の状況、希望、家族の意向等を考慮し柔軟に個別で支援し、対応している</li><li>ご家族へ月1回、職員が手紙を書きホームでの様子を伝えている。<ul style="list-style-type: none"><li>調理職員による旬の食材による手作りの食事を提供し、食事を通じて季節感やこれまでの人生経験等を感じ取ってもらっている。</li></ul></li><li>毎朝玄米食を取り入れ、薬に頼らない排泄に努めている。</li><li>入居者の出来る事を出来るだけ長く続けて頂ける様な支援と取り組みをしている</li></ul>
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成30年3月26日	評価機関 評価決定日	平成30年4月13日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p><b>【事業所の優れている点】</b></p> <p>◇看取りに関する方針の共有と実践 協力医療機関の医師と訪問看護師が連携を図り、利用者が安心して医療を受診し健康相談ができる体制にある。入居時利用者と家族に、重度化に関する事業所の方針を説明して、看取りに関する同意を得ている。 利用者・家族の要望に配慮し、医師の指示のもと可能な限り、質の高いサービスを提供できる支援に取り組んでいる。</p> <p><b>【事業所が工夫している点】</b></p> <p>◇個人別の調査票「快適情報」で、入居時に利用者の情報を得ている。「ご利用者の好きな食べ物」「好きなお菓子」「好きな飲物」、また「暑がりか」「寒がりか」など生活環境を把握して、日頃の介護に活かしている。 ◇日誌に入浴や居室の清掃、面会、レクリエーションなどの利用者情報を記録し、職員が利用者と暮らしを共にし、生活リズムを把握するよう努めている。 ◇家族には、毎月「おたより」を送付している。居室担当者が利用者の健康状態や生活状況、翌月のひな祭りや春の散歩、クリスマスの行事予定などを知らせ、家族との連絡を密にとり安心につなげている。 ◇食事は職員が献立を作り、旬の食材を購入して手作りの料理を提供し、調理専門の職員が調理している。朝食には、便秘対策として玄米食を入れ、運動して薬に頼らないよう栄養面にも配慮している。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム星川園
ユニット名	3F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、常に意識した言動や実践に繋げている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開設時に運営法人の代表と管理者が作成した理念を、2階と3階の事務室に掲示している。</li> <li>・職員は理念を、利用者への日頃のサービス提供や朝夕の申し送り時に確認し合い、理解を深めて実践につなげている。</li> </ul>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、行事等に参加する事により地域社会の一員として認知される様、努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は地域の防災訓練に参加し、初詣には利用者と橘樹神社へ出かけている。夏祭りには、公園に準備された椅子で盆踊りを見物している。</li> <li>・地元の中学生の職場体験を受け入れ、ボランティアがギターやハーモニカ演奏、車いすダンスで来訪し、利用者で交流している。</li> </ul>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域に出ていく事で交流し、理解をして頂く努力をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で頂いた意見に謙虚に耳を傾け問題点をスタッフ会議で共有し、サービスの向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議には、地域代表、民生委員、利用者・家族、利用者の成年後見人が出席して、2か月ごとに開催している。</li> <li>・会議では、利用者の転倒防止策などを話し合い、地域の防災訓練などの情報などを得ている。</li> </ul>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村とは常に連絡を密に取り、協力し合いながら連携を取っている。月一度、相談員の方に来て頂いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者は、区の生活支援課に運営面や業務上の問題点を報告し、相談している。</li> <li>・介護保険の要介護認定更新の際、家族に代わり立ち会うこともある。</li> <li>・区の生活相談員が来訪し、利用者で話し合っている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が正しく理解し、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	・職員は身体拘束をしないケアの研修を受講して、正しい理解に努め実践している。 ・玄関は安全面と防犯上からオートロックにて施錠している。帰宅願望のある利用者には、職員と一緒に外出して見守りに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が虐待防止法について正しく学び、細心の注意をはらい防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全職員が権利擁護に関する制度について、正しく学び活用できる様に支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する十分な説明を利用者やご家族に行い、理解と納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、御家族からの意見や要望を受け入れ運営に反映させる様、務めている。	・家族の来訪時には、利用者の日頃の様子を説明し、意見や要望を聞いて運営に反映している。 ・家族より事業所の案内用看板掲示の提案があり、検討している。 また、一部の家族から、白髪染めをして欲しいとの要望があり、定期的実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する職員の意見や提案は採り入れ反映させている。	・管理者は、毎月の全体会議やユニット会議、朝・夕の申し送り時に職員から日常業務の要望や意見を聞いている、 ・職員からは、人手が足りず新規の職員募集や冷蔵庫などの備品の購入希望があり検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の状況や能力に応じて対応し、柔軟な働き方が出来る様に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を積極的に活用し、職員のスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年1回の交流研修を通し、他事業所との課題を共有し、サービスの質の向上に反映させている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴し信頼関係を築きながら、不安や困り事を取り除ける様努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との信頼関係を築く為、要望や不安を話しやすい環境作りを行い傾聴に努め、不安を取りのぞく努力を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族等の要望を傾聴し、必要な支援を見極め、他サービスも含めより良い生活の為の提案や助言を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者が自宅で過ごす様にして頂く為、残存能力を見極め出来る事は積極的に行って頂き、時には職員に教える場面も設けている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との信頼関係をしっかり築く事に努め、お互いが利用者を支える立場として協力し合うよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者が行きつけだった店や美容院へ継続的に行くなどの配慮により、本人のこれまでの関係が途切れない努力を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の友人や知人が来訪し、職員がお茶を入れて、居室やリビングで歓談してもらっている。</li> <li>・利用者には、職員と一緒に馴染みの美容院へ行き、家族と墓参りに出掛ける方もいる。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の交流を大切にした支援に配慮し、利用者同士の関わりあいや支えあいを促す支援を心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても必要に応じて本人や家族の相談等支援に努めている。お亡くなりになった方の命日には必ずお伺いする様にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の思いを傾聴し、言動や非言動的なものからその思いを汲む努力を常に怠らず行い、支援に繋げている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員は日常の行動や表情、しぐさから、利用者の意向や希望を汲み取るように努めている。また、家族の来訪時に聞き、利用者の生活歴も参考にしている。</li> <li>意向の把握が困難な方には、ドライブや入浴のときなどに、話を聞いている。</li> </ul>	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者のより良い生活の為に、かつての生活歴や生活環境などの情報収集を行い、生き活きと生活できる様支援に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者一人ひとりの生活パターンや心身状態を有する能力の把握に努め、小さな変化も見逃さないよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議においては、多職種とも協働しチームとして総合的に支援していく様、介護計画を作成している。	・入居希望者には、来所してもらい、また自宅や病院を訪問して本人や家族と話し合っている。 ・アセスメントを基に仮計画を作成して会議で検討し、医師の意見を入れて短期・長期の介護計画を作成し、通常1か月毎に見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録から職員は情報を交友し、実践や介護計画の見直しに反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の要望や状況の変化に個別で柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握し、活用するよう努めている。毎年中学生の職業体験を受け入れ、自立支援学校の総合授業の組み入れをしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療や訪問看護・訪問歯科等、提携医療機関との連携を密に取り、適切な医療を受入れられる様支援している。	・利用者全員が提携医療機関の往診医をかかりつけ医とし、内科医は2週間ごと歯科医は毎週受診している。 ・医療情報は、診療記録や業務日誌に記録し、職員間で共有している。 ・眼科に家族の支援で受診している利用者がいる。	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は看護職員と連携を密に取り、情報を共有し協働に努め入居者の医療面での支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退去時は医療機関と緊密に連絡を取り合い、早期退院に向け最大限支援を行っている。入院時は毎日のお見舞いを欠かさない。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期については本人や家族の意向をふまえ、十分納得出来る様話し合い、共有し支援している。延命措置要否の同意書を交わしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時利用者と家族に、重度化した場合の指針を説明している。</li> <li>・看取りは、主治医の説明に基づき、可能な限り尊厳と安楽を保ち、最大限尊厳あるターミナルを目指すことを関係者間で共有している。</li> </ul>	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職場にAEDを備え、万が一の急変や事故発生時には全職員が対応できる様、定期的に研修を行なっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策については、防災や火災の各訓練を行う事により、地域との協力体制を築いている。年2回の訓練実施している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災避難訓練は年2回、日中と夜間を想定して行い、うち1回は消防署の協力を得ている。</li> <li>・防災訓練には、地域住民の協力を得ている。</li> <li>・非常災害用の食料や飲料水は、3日分程度備蓄している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災避難訓練における地域の方の役割を、運営推進会議で話し合いされることを望みます。</li> </ul>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	当施設の理念にもあるように、全職員が人格を尊重した対応を個々に心掛けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長い人生を歩んできた先輩として尊敬の気持ちを持って接している。</li> <li>・訪問診療の際、利用者の気持ちに配慮して、居室で診察を受ける場合もある。</li> <li>・個人情報事務所のキャビネットで施錠し、保管・管理している。</li> </ul>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が話しやすい環境を整え、表出しづらい利用者の思いを受け止める努力を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活ペース、個々の状況や希望に最大限応えられる様努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個別で行きつけの美容院を利用したり、染髪や買い物の支援など柔軟に対応している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の残存能力に配慮し、一緒に調理や下ごしらえ、片づけをする等支援し工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が季節の食材を購入し、利用者の希望を取り入れた食事を提供している。</li> <li>・職業体験の中学生を受入れた際、利用者と生徒と一緒に好み焼きや焼きソバを作り、食を通じてふれ合いを楽しんでいる。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取や水分摂取についてはその量を記録し、把握して健康状態も含め支援に繋げ対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科でのチェック、日々の口腔体操と口腔ケアの支援によって口腔ケアの重要性を認識し支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録により個別のパターンを把握し、少しの変化を見極め排泄の自立を支援している。リハパンから布パンツへの支援を推進している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄チェック表による利用者のパターンと身振り・表情からタイミングをはかって声掛けし、トイレでの排泄を支援している。</li> <li>・夜間も利用者の排泄パターンに合わせて適切にトイレに誘導している。</li> </ul>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	玄米や野菜、水分摂取などを積極的に進めると共に運動等を行い、薬に頼らないよう対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	身体の清潔保持や感染症を防ぐ等、入浴を勧め出来るだけ希望に沿って対応している。柚子湯や菖蒲湯など季節に応じた入浴も実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週2回午前中に入浴しているが、入浴を嫌がる利用者には、職員が手を取って浴室まで誘導したり、時間や職員を変え対応している。</li> <li>・菖蒲湯、ゆず湯や入浴剤を使用して、入浴を楽しめるように工夫している。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個別の生活パターンや日々の状況を見極め支援している。寝具についても清潔に保てるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については主治医指導のもと、事故の無いよう細心の注意を払い確実な支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	社会から隔絶される事の無いよう、レクや外出など楽しみを重視し、積極的に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望を最大限叶えられる様支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気が良いときはほとんど毎日、近隣の公園やスーパーへ散歩や買い物に出かけている。</li> <li>・橘樹神社への初詣、西谷浄水場への弁当持参の花見や木更津アウトレットのショッピングなど利用者の希望で実施している。</li> </ul>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の意向や希望により支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者が自由に本人の意思で電話をしたり、手紙を書く等の支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の生花を飾るなど、居心地の良い共用空間づくりに配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リビングは、窓からの自然の陽光とエアコン・加湿器や自然換気により快適な環境を保っている。</li> <li>・壁面には、利用者が制作した春の花畑の折紙、テーブルには季節感のある生け花など、穏やかに過ごせるように配慮している。</li> </ul>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子席やソファ席などを自由に利用でき、居場所の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や仏壇などを自由にレイアウトし、本人が居心地よく過ごせる空間作りを支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室には、馴染みのダンス、ベッドに家族の写真やテレビなどを持込みこれまでと変わらない生活ができるよう工夫している。</li> <li>・職員は、毎日の掃除のほか、毎週衣類の整理や部屋の片付を手伝っている。</li> </ul>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺りの設置や安全に配慮した動線の確保など、自立に向けた工夫を行っている。		

事業所名	グループホーム星川園
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、常に意識した言動や実践に繋げている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、行事等に参加する事により地域社会の一員として認知される様、努めている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域に出ていく事で交流し、理解をして頂く努力をしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で頂いた意見に謙虚に耳を傾け問題点をスタッフ会議で共有し、サービス向上に活かしている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村とは常に連絡を密に取り、協力し合いながら連携を取っている。月一度、相談員の方に来て頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が正しく理解し、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が虐待防止法について正しく学び、細心の注意をはらい防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全職員が権利擁護に関する制度について、正しく学び活用できる様に支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する十分な説明を利用者やご家族に行い、理解と納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、御家族からの意見や要望を受け入れ運営に反映させる様、務めている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関する職員の意見や提案は採り入れ反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の状況や能力に応じて対応し、柔軟な働き方が出来る様に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を積極的に活用し、職員のスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年1回の交流研修を通し、他事業所との課題を共有し、サービスの質の向上に反映させている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴し信頼関係を築きながら、不安や困り事を取り除ける様努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との信頼関係を築く為、要望や不安を話しやすい環境作りを行い傾聴に努め、不安を取りのぞく努力を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族等の要望を傾聴し、必要な支援を見極め、他サービスも含めより良い生活の為の提案や助言を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者が自宅で過ごす様にして頂く為、残存能力を見極め出来る事は積極的に行って頂き、時には職員に教える場面も設けている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との信頼関係をしっかり築く事に努め、お互いが利用者を支える立場として協力し合うよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	入居者が行きつけだった店や美容院へ継続的に行くなどの配慮により、本人のこれまでの関係が途切れないう努力を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の交流を大切にした支援に配慮し、利用者同士の関わりあいや支えあいを促す支援を心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても必要に応じて本人や家族の相談等支援に努めている。お亡くなりになった方の命日には必ずお伺いする様にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の思いを傾聴し、言動や非言動的なものからその思いを汲む努力を常に怠らず行い、支援に繋げている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者のより良い生活の為に、かつての生活歴や生活環境などの情報収集を行い、生き生きと生活できる様支援に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者一人ひとりの生活パターンや心身状態を有する能力の把握に努め、小さな変化も見逃さないよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議においては、多職種とも協働しチームとして総合的に支援していく様、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録から職員は情報を交友し、実践や介護計画の見直しに反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の要望や状況の変化に個別で柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握し、活用するよう努めている。毎年中学生の職業体験を受け入れ、自立支援学校の総合授業の組み入れをしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療や訪問看護・訪問歯科等、提携医療機関との連携を密に取り、適切な医療を受入れられる様支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は看護職員と連携を密に取り、情報を共有し協働に努め入居者の医療面での支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退去時は医療機関と緊密に連絡を取り合い、早期退院に向け最大限支援を行っている。入院時は毎日のお見舞いを欠かさない。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期については本人や家族の意向をふまえ、十分納得出来る様話し合い、共有し支援している。延命措置要否の同意書を交わしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職場にAEDを備え、万が一の急変や事故発生時には全職員が対応できる様、定期的に研修を行なっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策については、防災や火災の各訓練を行う事により、地域との協力体制を築いている。年2回の訓練実施している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	当施設の理念にもあるように、全職員が人格を尊重した対応を個々に心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が話しやすい環境を整え、表出しづらい利用者の思いを受け止める努力を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活ペース、個々の状況や希望に最大限応えられる様努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個別で行きつけの美容院を利用したり、染髪や買い物の支援など柔軟に対応している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の残存能力に配慮し、一緒に調理や下ごしらえ、片づけをする等支援し工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取や水分摂取についてはその量を記録し、把握して健康状態も含め支援に繋げ対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科でのチェック、日々の口腔体操と口腔ケアの支援によって口腔ケアの重要性を認識し支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録により個別のパターンを把握し、少しの変化を見極め排泄の自立を支援している。リハパンから布パンツへの支援を推進している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	玄米や野菜、水分摂取などを積極的に進めると共に運動等を行い、薬に頼らないよう対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	身体の清潔保持や感染症を防ぐ等、入浴を勧め出来るだけ希望に沿って対応している。柚子湯や菖蒲湯など季節に応じた入浴も実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個別の生活パターンや日々の状況を見極め支援している。寝具についても清潔に保てるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については主治医指導のもと、事故の無いよう細心の注意を払い確実な支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	社会から隔絶される事の無いよう、レクや外出など楽しみを重視し、積極的に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望を最大限叶えられる様支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の意向や希望により支援している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者が自由に本人の意思で電話をしたり、手紙を書く等の支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の生花を飾るなど、居心地の良い共用空間づくりに配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子席やソファー席などを自由に利用でき、居場所の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や仏壇など自由にレイアウトし、本人が居心地よく過ごせる空間作りを支援している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺りの設置や安全に配慮した動線の確保など、自立に向けた工夫を行っている。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム星川園

作成日 平成30年4月24日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	施設内防災訓練に地域の方の参加が難しい。	近隣の方々の訓練参加	参加できる方々が平日に勤めているため、訓練日を週末にしてみる。	次回訓練日 6か月後
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。